

全員協議会 会議録（要点筆記）

平成26年6月17日（火）

午後 2時00分 開会

午後 2時10分 閉会

場所 : 全員協議会室

〔上程議案の補足説明〕

1 （仮称）板山こども園整備事業に係る園舎増築工事について

藤田千晴子育て支援部長：資料に基づき説明

中村宗雄議員：1点確認をさせていただきます。補正予算額については議会で審議すればよいという事で、ここに至った経緯をお聞きしたいと思いますが、建設の物価が上がっているのは誰もが知っている当たり前の事でありまして、先日行われた亀崎幼稚園の入札においても5%ほど3月の議決の時より予算を積み増して入札を執行していると思います。先日、隣町の阿久比町では25%積み増して庁舎の入札を行った。そういう状況下でありまして、当初予算でやって不調になってしまったのか、既に不調になったときにも当初の予算より積み増していたのか。積み増していないとすれば、こうなった当たり前なわけで、落ちる方が不思議だと思いますが、どこまでこの事態を想定していたのか、その部分について確認させていただきます。

笠原健次建設部長：板山の園舎の増築工事につきましては、子育て支援部から工事委託を建設部が受けておりますので、私の方からお答えさせていただきます。私もこういった近年の建設状況というものは把握しておりますので、4月の単価を採用する中で、今回設計をしております。それにつきましては、当初予算という考え方で設計をして、発注をしております。ただ、先ほど子育て支援部長が申しましたとおり、入札が不調になった要因ということで、この工事自体の規模が小さいという事でかなり割高になったというふうに考えております。

中村宗雄議員：具体的にお聞きしますけれど、3月に議決した時には、2月とかの単価を適用していると思いますが、3月議会で議決した予算額と今回不調になった時に執行した予算額というのは5%くらい下がっていたのですか。

笠原健次建設部長：基本的には変わっていません。

中村宗雄議員：そうなりますと不調になって当たり前というか、その事が何故予見できなかったのか、逆に5月の臨時会で補正を組んでそのまま増額して6月の5日でしたか、そのまま入札を執行していれば、この6月議会で無事契約が結べると思いますが、こうなってしまったのは、不測の事態ではなくてある意味予測の事態だと思いますが、その辺りは如何でしょうか。

笠原健次建設部長：私が申し上げましたのは、こういった状況の中で設計をしまして、当初予算の範囲に収まったという事でございます。ただ、先ほど申しました入札不調の要因という事で、建設業界の状況だとか板山子ども園が約50坪の増築工事という事でして、かなり小規模になっておりまして、今の建設業界の仕事余りの状況の中からこういった小規模の工事というのは、なかなか難しいという

状況が今回の入札不調だったというように考えております。

[その他]

- 中国徐州市公式訪問団受入について
堀寄敬雄企画部長：資料に基づき説明
質疑なし